

使用上の注意事項



- 1.本品は厳重な品質管理のもとに製造した既調合品です。指定材料以外の材料を練混ぜないで下さい。
なお、練混ぜには上水道水を使用して下さい。
- 2.練混ぜした材料は夏期1時間、冬期2時間以内に使用してください。練足しや加水して練戻しをしないで下さい。
- 3.強風や直射日光などによる急激な乾燥を防止するために、シート養生などの適宜な措置をして下さい。
- 4.気温が5℃以下になる場合は、施工を避けて下さい。
- 5.製品の製造年月日を確認し、製造から6カ月以上経過した製品は使用しないで下さい。
また、開封した製品はできるだけ早く使用して下さい。

取り扱い時の安全対策（概要）



【1】取扱い及び保管上の注意

- 目や皮膚などに触れないよう適切な保護具（保護手袋、防塵マスク、保護メガネ等）を着用して取扱って下さい。
また、取扱い後は顔、手、口などを水で洗浄して下さい。
- 製品は屋内の湿気の少ない場所に、床面から離して保管してください。

【2】応急処置

- 目に入った場合:直ちに清浄な水で最低15分間洗眼し、速やかに専門医の治療を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合:速やかに水または温水で十分に洗い流して下さい。肌荒れがひどい場合は、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 吸引した場合:速やかに新鮮な空気のある場所に移動し、水または温水でうがいをし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 飲み込んだ場合:水でよく口の中を洗うなどして、直ちに医師の診断を受けて下さい。
[まずは、飲み込まないように注意してください]

【3】濾出時の注意

- 飛散した粉末は掃除機で吸い取って回収するか、ホウキやスコップで集め空袋などに回収してください。

【4】廃棄上の注意

- 廃棄する製品や練混ぜ材などは硬化させてから、産業廃棄物として適切な処置をしてください。
また、洗浄水などの排出は水質汚濁防止法などに注意して下さい。

【5】輸送上の注意

- 破袋、荷崩れ、落下などの防止策を確実に行って下さい。また、降雨時の湿気や水濡れに注意してください。

※ドライアウト防止－乾燥が激しい場合は、施工の翌日に散水養生を行って下さい。

※白華防止－梅雨・冬期時は塗り付け後、降雨・降雪に遭うと白華発生の恐れがあるのでシート掛け養生などの適切な防止策をして下さい。

※ 1 安全についての記載は現時点で入手できた資料及び情報にもとずいて、通常の取り扱いを対象に作成しています。
しかし、現場での結果を保証するものではありません。安全には十分ご注意の上お取り扱いねがいます。

※ 2 カタログの記載内容は、製品改良のために断わりなく仕様変更をすることがありますのでご了承下さい。

取扱店

販売元

プレミックスの開発メーカー



株式会社 豊 運

〒546-0003 大阪市東住吉区今川3丁目12番4号

TEL 06-6708-8131

FAX 06-6708-8133



ISO 9001

シマダの

屋根しっくい

白

NET
20kg

漆黒

NET
20kg

水で練混ぜするだけでOK

●簡単で手間がからない！

●屋根のしっくい工事に
(屋根のしっくい・面戸・カノコ止め etc…)

●寒さや凍付きにも強い

●釉薬瓦・いぶし瓦によく付く

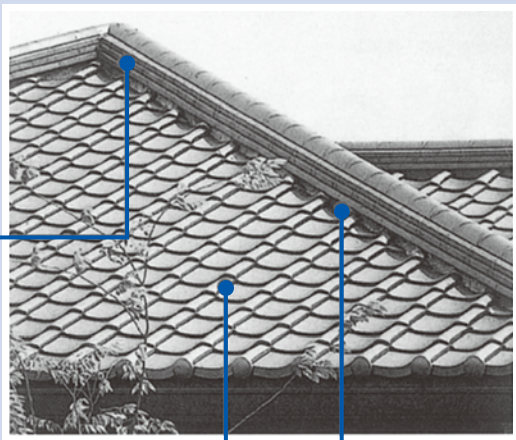
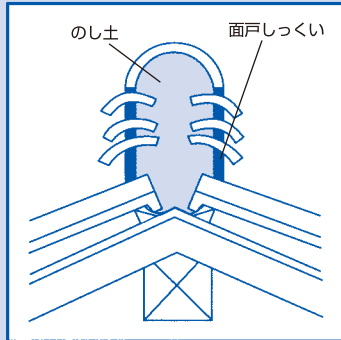
株式会社 豊 運

最新の瓦施工技术で優れた瓦を施工しても、「従来しっくい」（石灰）では、面戸部分で数年後に面戸の石灰が流れ出ると云うクレームが多々ある様ですが、石灰の気硬性（空中のガスと反応して硬化する）が原因で起こるとされています。

この問題を解決したのが、「シマダの屋根しっくい」です。白セメント系を主成分とした水硬性（水と反応して硬化）であり、寒水石、防水剤、スサ、粉末樹脂等を完全配合された理想的なプレミックス材で、耐久性の向上、収縮率の低減、チリ切れが発生しにくく、防水効果のアップ、剥離防止などの問題解決を実現しました。

使用例

かのこ



■施工面積

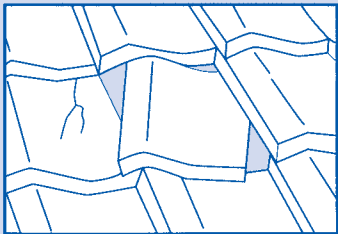
3.5m²/4mm厚

瓦：約30枚分

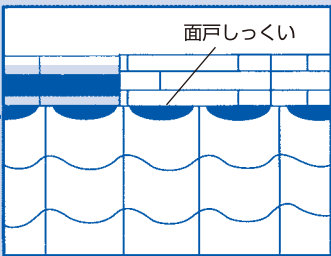
（1袋/20kg）

面戸：約100枚分

瓦のズレ、割れ補修



面戸

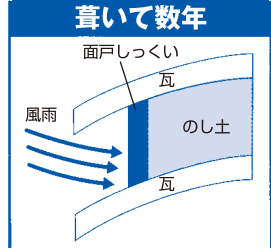


従来品との比較

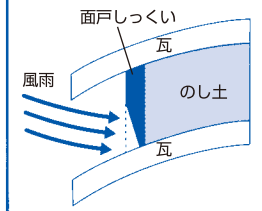
「従来のしっくい」と「シマダの屋根しっくい」の違いは、セメントをベースにすることにより、強度・付着力・耐久性に優れていることです。「従来のしっくい」は空気中の炭酸ガスと反応し硬化することに比べ「シマダの屋根しっくい」は、セメントを主成分にすることにより水硬性で水と反応して硬化することから気候変化などに強い製品となっています。

	従来しっくい	シマダの屋根しっくい
成分	石灰系	セメント系
強度	○	◎
防水性	△	○
付着力	△	◎
耐久性	○	◎

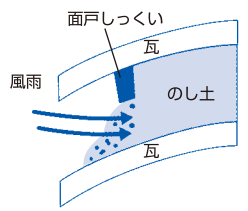
【従来しっくいの欠点】



土にじみが見える



のし土が崩れ落ちる

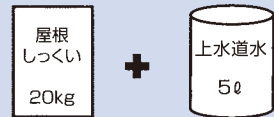


施工要領

施工する前に

①下地表面のゴミ、ホコリ、油汚れを取り除いて下さい。
②下地が乾燥している場合は水打ちをしてください。

1 屋根しっくい1袋（20kg）に対して
上水道水約5ℓをよく練合わせてからお使いください。



※練合わせが足りない場合や水量が多くなると、屋根しっくい漆黒の場合白華（注1）の原因になりやすくなりますのでご注意ください。
※他の材料を混入しないで下さい。

2 練置きはできません。

季節により下記の時間を目安に使い切して下さい。

夏 1時間～1時間半 冬 2時間以内

3 塗厚は4mm以上、隙間に食い込むように
丁寧に詰め込んで施工して下さい。

① 練合わせた屋根しっくいを2mm厚まで下地及び瓦に多くすり込むように塗り付けて下さい。

② 次に上から2～3mm厚で塗り重ねて下さい。

③ 表面をなめらかに整えて下さい。

4 乾燥が早い時に使用する場合、
シーラーN（別売）5倍液にて練混ぜして下さい。
ドライアウト（注2）防止、クラックにも強くなります。

屋根しっくい1袋（20kg） ・ 上水道水 4ℓ
・ シーラー-N 1ℓ

硬化時間 夏：1日 冬：2日

5 急乾燥した場合は施工後、水打ちを行って下さい。

6 冬場は気温が5℃以下での施工は避けて下さい。

7 ハンドミキサー：3枚羽根をご使用下さい。

※屋根しっくいに含まれるスサを巻き取る原因になりますので、タービン羽根のご使用は避けて下さい。

注1）白華

現象：表面に析出した白粉結晶。エフロレッセンスともいう。

原因：寒冷期に施工した場合に発生しやすい。

特に十分硬化する前に降雨にあった場合に発生する。

長時間練置きしての加水練灰しに注意する。

対策：採暖や養生シートなどに注意をはらい施工時の気温を10℃以上に保つのが望ましい。

複層塗材のように上塗材が施工されるものは、白華を取り除いて上塗材を塗る

注2）ドライアウト

現象：セメント系塗材を施工後、急速な水分揮散によるセメントの硬化不良。

原因：1. 夏期では直射日光を避ける 2. 強風 3. 下地の激しい吸込み

4. 塗材の練混ぜ不十分

対策：1. 夏期は日光の直射のない面から塗付けし、また養生シート掛けをする。

2. 強風下（5m/秒以上）の施工は避ける。

3. 翌日に散水養生する。

4. 吸込み止め用シーラーを塗り付ける。

5. 練混ぜ時に材料を十分に水となじませる。

混ぜてお使い下さい。

【面戸ブラック】

屋根しっくい1袋に対して面戸ブラック1本を混入、
もしくは2袋に対して1本を混入して下さい。
（瓦の濃さに応じて混入して下さい。）

【ご注意】 ※面戸ブラックを混入する場合は
水に希釈してからよく練混ぜして下さい。
※混入後の練置きは出来ません。

B-101
（着色樹脂）



荷姿：1ケース35本入り
400cc/1本

試験項目		屋根しっくい（白）	屋根しっくい（漆黒）	試験方法
耐久性		はがれ、ひび割れ、 膨れ、変色等の異常なし。	はがれ、ひび割れ、 膨れ、変色等の異常なし。	水中（20℃） 18時間 ↓ 冷凍室-20℃ 3時間 ↓ 赤外線照射で表面温度50℃以上 3時間
				×10サイクル
耐衝撃性		異常なし。	異常なし。	JIS A 6915
曲げ強度 N/mm ²	材令28日	3.9	3.9	JIS R5201（但し、空气中養生）
圧縮強度 N/mm ²	材令28日	13.7	14.7	
付着強さ N/mm ²	コンクリート	1.03	0.98	建研式接着力試験器で測定
	瓦	0.73	0.74	
	釉薬瓦	0.58	0.57	
吸水量（g）		30	29	JIS A 1404、浸水24時間後の吸水量
長さ変化	材令28日	-4.56×10 ⁻⁴	6.56×10 ⁻⁴	JIS A 1129